



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

2026 年 1 月 8 日

2026 年スポーツクライミング日本代表選手選考および 国際競技大会派遣選手選考基準

1. 権限の所在及び決定の方法

スポーツクライミング日本代表選手の選考および国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。

派遣選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

2. スポーツクライミング日本代表チームの目標

- (1) 第 34 回オリンピック競技大会（2028／ロサンゼルス）において金メダルを含む複数メダルを獲得する。
- (2) (1)の他にアジア競技大会、世界選手権等の主要大会において金メダルを含む複数メダルを獲得する。
- (3) 単種目での世界ランキング 1 位から 40 位までの成績を多くの選手が収めることにより恒久的に日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (4) World Climbing Series における全種目での国別ランキング 1 位を目指し、国際的に「強い日本」を印象づける。

3. スポーツクライミング日本代表選手選考基準

優先 順	選考基準	選出予定人数	備考
1	2025 年世界ランキング 10 位以内の選手 (2026 年 1 月 1 日時点)		優先順は世界ランキングに準じる
2	第 20 回アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋)内定選手	各種目・各種別 最大 2 名	● 2026 年 1 月 1 日時点での内定選手のみを対象とする ● 対象とする期間は大会開催日までとする
3	【ボルダー、リード】	優先順 1、2 を除く男女各 8	同着となった場合は、該当す

JMSCA



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

	国内選考大会の上位選手 (該当種目に限る)	名	る選手達が同時に出場した 直近の国際競技大会(世界ユ ース選手権大会等を含む)、 ジャパンツアー等の結果の 上位者から優先的に選出す る
	【スピード種目】 a. スピードジャパンカップ 2026 で 3 位以内の選手 b. WORLD CLIMBING また は JMSCA が主催・共催・公 認するスピード種目の大会 において 2026 年選手派遣標 準タイムである 男子 5.34 秒 以内、女子 7.89 秒以内 の記 録を出した選手	選考基準の該当と なった選手数	● 対象とする期間は 2026 年 2 月から 8 月 20 日まで と する
4	2026 年アジア選手権 (中 国・眉山) 内定選手		IFSC クライミングアジア選 手権 (泰安) 2024 優勝選手

4. 国際競技大会派遣選手選考基準

(1) WORLD CLIMBING SERIES 2026

① 選考方針

- 前年の各種目の世界ランキング上位 10 位以内の選手を最優先に選考する。
- 国際競技大会で優勝できる選手を育成するために、中長期的プランを考慮し選出すると共に、各種目国別ランキング 1 位獲得への貢献が期待できる選手を選考する。また、より多くの選手に国際競技大会への参加機会を与えるため、シーズン途中に優先順位の入れ替え行う。

② 国際競技大会派遣のための必要条件

- 2026 年 12 月 31 日時点で **17 歳**に達していること (WORLD CLIMBING ルール改定に準ずる)
- 当協会登録選手規程に従い A 選手登録をしていること
- 該当種目の 2026 年選考大会 (③) に参加すること。ただし、指定感染症への感染などの特別な事情により参加できない場合はその限りではない。

③ 2026 年選考大会

- ボルダージャパンカップ 2026 (2026 年 1 月 31 日～2 月 1 日/東京都)

JMSCA



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

- b. リードジャパンカップ 2026 (2026 年 3 月 7 日～8 日／三重県)
 - c. スピードジャパンカップ 2026 (2026 年 2 月 15 日／佐賀県)
 - d. WORLD CLIMBING または JMSCA が主催・共催・公認する各種大会
- ④ 派遣選手団について

a. 国別枠

日本以外で大会が開催される場合は、WORLD CLIMBING ルールに従い、ボルダー男女最大 6 名ずつ、リード男女最大 6 名ずつ、スピード男女最大 4 名ずつが参加できる。

- b. チーム構成、予算、安全面等の状況を総合的に判断し、多数の派遣が困難な大会については、WORLD CLIMBING ルールに記載されている a の基準の派遣枠よりも少ない選手数を派遣する場合がある。

⑤ WORLD CLIMBING SERIES 2026 等への派遣選手選考基準

種目	派遣対象大会	派遣優先順	選考基準
ボルダー	第 1 戦～第 5 戦 (前半戦)	1	前年ボルダー世界ランキング 10 位以内の選手から最大 3 名選出 ※1
		2	第 5 戦は 2026 年アジア競技大会内定選手 (ボルダー) から最大 1 名選出
		3	ボルダージャパンカップ上位選手から国別枠を満たすまで選出
	第 6 戦 (最終戦)	1	前半戦に参加できていない前年ボルダー世界ランキング 10 位以内から選出
		2	第 5 戦までで 6 位以内の成績を収めた選手を上位選手から選出。ただし、1.2 の合計選手数を最大 3 名までとする。 ※2 ※3
		3	前半戦に参加できていないジャパンカップ上位選手から国別枠を満たすまで選出
リード	第 1 戦～第 4 戦 (前半戦)	1	前年リード世界ランキング 10 位以内の選手から最大 3 名選出 ※1
		2	リードジャパンカップ上位選手から国別枠を満たすまで選出



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

	第 5 戦～第 6 戦 (後半戦)	1	前半戦に参加できていない前年リード世界ランキング 10 位以内から選出
		2	第 5 戦は 2026 年アジア競技大会内定選手（リード）から最大 1 名選出
		3	第 4 戦までで 6 位以内の成績を収めた選手を上位選手から選出。ただし、1.3 の合計選手数を最大 3 名までとする。 ※2 ※3
		4	前半戦に参加できていないリードジャパンカップ上位選手から国別枠を満たすまで選出
スピード	全戦	1	個人最高記録の上位者から優先的に国別枠を満たすまで選出。 ただし、派遣を決定する個人最高記録は派遣対象大会の 30 日以前のものとする。
		2	1 の記録が同タイムの場合は、それぞれの 2 番目の記録で比べ、より速い記録を持つ選手を優先する。

※1 前年各種目世界ランキング上位者から優先的に選出する。

また、前年各種目世界ランキング 10 位以内の選手で、ジャパンカップ上位になり、両方の優先順で選出される可能性がある場合、前年各種目世界ランキング 10 位以内の優先順を利用する。

※2 同順位の場合は同時に参加した大会から 2 番目以降の成績を比較し、上位の選手を選出する。

※3 前半戦の成績については、最終戦または後半戦の参加がすでに内定している選手を含めて前半戦の順位成績上位者より最大 3 名を選出する。

⑥ 派遣選手決定時期

基本的に、派遣選手については各大会の 70 日前を目処に決定し、大会開催前までに公表する。

ただし、スピード等において個人記録が上回る選手がいた場合は、派遣の 30 日前に大会派遣選手の入れ替えが行われることがある。

また、何らかの理由により急遽大会に出場できない場合に、次選の選手が選出できなければ、該当の選手が国別枠を使用したこととする。

(2) その他の国際競技大会について

① アジアカップ 2026

JMSCA



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

- a. 2026 年に開催される国際競技大会へ派遣された、または派遣が予定されている大会数（※4）の少ない選手から大会参加数の上限まで優先的に選出する。
- b. 大会参加数が同じ選手同士の場合は「3. スポーツクライミング日本代表選考基準」の優先順を用いて選出する。
- c. 複数種目が同時開催される大会で、大会参加数の上限が満たされない場合は、その大会に参加する選手からの参加を認める場合もある。
その場合、該当種目の国内選考大会であったジャパンカップに参加した選手であることを条件とし、該当種目のジャパンカップの順位の上位者から優先的に選出する。

※4 大会開催 50 日前に参加が決定している大会数を用いる。また、対象大会は WORLD CLIMBING が主催等の全ての国際競技大会とする。

- ② その他の国際競技大会は開催が決定となり次第 別途選考基準を公表し、選手選考をおこなう。

5. その他

- (1) WORLD CLIMBING ルール等が変更された場合及び大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。
- (2) 選手への渡航費や宿泊費等の補助の詳細については、2026 年度強化委員会予算決定後に選手へ通知する。
- (3) 感染症等による大会の延期になった場合および選考大会日程が変更になった場合には、可能な限り早急に改定または特別措置を公表した上で派遣対象選手を決定する。

JMSCA